

## 主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 46

ペテロの第一の手紙において（1）

神の霊の家を建造するためのわたしたちの魂の牧者

聖書：I ペテロ 2:2-8, 25

- I. わたしたちの魂の牧者として、霊なるキリストはわたしたちの内側の状態を監督し、わたしたちの内なる存在の状況を顧みます——I ペテロ 2:25：
- A. キリストの有機的な牧養は、おもにわたしたちの魂を顧みます——詩 23:3。
  - B. 彼がわたしたちを牧養するのは、わたしたちの魂の益を顧みることにより、またわたしたちの内なる存在の状態を監督することによりです——参照、ヘブル 13:17。
  - C. このような牧養は、内側の、内在的な、有機的な慰めです——II コリント 1:3-4。
- II. わたしたちの魂は非常に複雑なので、わたしたちはキリストを必要とします。彼はわたしたちの霊の中におられる命を与える霊であり、わたしたちの魂においてわたしたちを牧養し、わたしたちの思い、感情、意志を顧み、わたしたちの問題、必要、傷を顧みます——ヨハネ 14:16-17. I コリント 15:45後半. 6:17：
- A. キリストはわたしたちの霊なる牧者として、わたしたちの霊の内側からわたしたちを顧みます：
    - 1. 彼の牧養はわたしたちの霊から始まり、わたしたちの魂のあらゆる部分に広がります。
    - 2. キリストはわたしたちの霊からわたしたちの魂のすべての部分に到達し、優しい、有機的な、すべてを含む方法でわたしたちを顧みます——エペソ 3:17 前半. 4:23。
  - B. これは、再生された信者たちと結合され、ミングリングされ、合併されている、手順を経て究極的に完成された三一の神の内側の牧養です——ヨハネ 14:20。
- III. キリストはわたしたちの魂の牧者として、わたしたちの魂を回復します——詩 23:3：
- A. わたしたちの魂が回復されるとは、わたしたちが復興されることを意味します。
  - B. わたしたちの魂を回復することはまた、更新と造り変えを含んでいます——ローマ 12:2. II コリント 3:18。
  - C. 霊なる牧者はわたしたちの魂の牧者として、わたしたちの魂を回復し、彼の御名のために、わたしたちを義の途に導かれます——詩 23:3：
    - 1. 「義の途」は、わたしたちの歩みを示し、「彼の御名のために」は、霊なるキリストとしての彼の生けるパースンのためにを意味します。
    - 2. キリストはわたしたちを魂において回復し、わたしたちに彼の道を取らせ、義の途を歩かせます：
      - a. わたしたちが思い、感情、意志において正しくなく、均衡が取れていないなら、わたしたちは義であることができません。
      - b. 霊なるキリストの牧養の下で、わたしたちは均衡が取られ、矯正され、調整されます。

- c. わたしたちは行なうすべてのことにおいて、キリストの牧養の下にいて、彼をわたしたちの途、またわたしたちの義とする必要があります。

**IV. 主はわたしたちの魂の牧者として、わたしたちの魂に安息を与えます——マタイ11:28-30 :**

- A. 主は、律法を守ろうと奮闘している者たち、あるいは何か働きに成功しようと苦闘している者たちを召し、彼の所に来させて、安息させます—— 28 節。
- B. この安息は、律法や宗教、あるいは働きや責任の労苦や重荷から解放されることだけでなく、完全な平安と全き満足を指しています。
- C. 主のくびきを負うとは、御父のみこころを取ることです—— 12:50。
- D. 主はそのような生活をし、彼の御父のみこころによって制限され、御父のみこころを顧慮しました——ヨハネ 4:34. 5:30. 6:38。
- E. 彼は御父のみこころで完全に満足し、彼の心の中で安息を持ちました。
- F. わたしたちが主のくびきを負い、彼から学ぶことによって見いだす安息は、内側の安息、わたしたちの魂のための安息です——マタイ 11:29-30。

**V. 主がわたしたちの魂を牧養し、回復するとき、わたしたちはキリストを経験するだけでなく、彼を享受します——ピリピ2:2. 3:1前半 :**

- A. キリストを経験することはおもに、わたしたちの霊の中の事柄ですが、キリストを享受することは、わたしたちの魂の中の事柄です ——1:27. 2:2。
- B. もしわたしたちの魂に問題があるなら、わたしたちはキリストを経験しても、キリストを享受しないかもしれません ——4:2。
- C. キリストに関して、わたしたちの味わいはおもに、わたしたちの魂と共にあります。こういうわけで、わたしたちはキリストを享受するために、主にわたしたちの魂のあらゆる部分、特にわたしたちの思いを牧養していただく必要があるのです ——ローマ 12:2. エペソ 4:23。
- D. キリストを完全に享受するために、わたしたちは霊の中だけでなく、魂の中でも一である必要があります —— ピリピ 1:27. 2:2。

**VI. わたしたちの魂の牧者としてのキリストの牧養を通して、わたしたちは御言葉を通して養われます。それは、わたしたちが命において成長し、神の霊の家を建造するためです—— I ペテロ2:2-8 :**

- A. わたしたちは霊の乳で養われることによって、命において成長して「救いへと至る」ことができます ——2 節：
  - 1. わたしたちは再生を通して神聖な命を受けましたが、神の言葉の中で伝達される乳で養われることによって、この命において成長し、この命をもって成長する必要があります。
  - 2. 命において成長することの結果は、初期の救いではなく、神の完全で、全体的な救いです。
- B. わたしたちは神聖な命において成長するとき、キリストをわたしたちの中に生きている石として経験します ——4 節：
  - 1. 生ける石は、命を所有しているだけでなく命において成長する石です。これは、神の建造のためのキリストです。

2. キリストはわたしたちを彼の石の性質で造り変えられた生ける石としつつあります。それは、わたしたちが土台また隅の石としての彼の上に、他の人たちと共に霊の家に建造されるためです —— イザヤ 28:16。
  3. キリストにある信者であるわたしたちは、再生と造り変えを通して生ける石となります —— I ペテロ 2:5。
- C. 信者たちにおける神の目標は、生ける石で建造された霊の家を持つことです。この石は、分離しまき散らされた石ではなく、単に一緒に集められ積み上げられた石でさえなく、互いに建造された石です —— 5 節 :
1. 言葉の養う乳は、わたしたちを霊的にして、神の霊の家に建造されるのにふさわしくします —— 2-3 節。
  2. 神の言葉の中の養う乳によってキリストを常食とすることは、命における成長のためだけでなく、建造のためでもあります。命における成長は、命における建造です —— エペソ 2:21-22. 4:15-16。
- D. 主の牧養を通して、彼はご自身をもってわたしたちを養います。それは、わたしたちが成長し、造り変えられて、神の建造となるためです —— I ペテロ 2:25, 2-8。